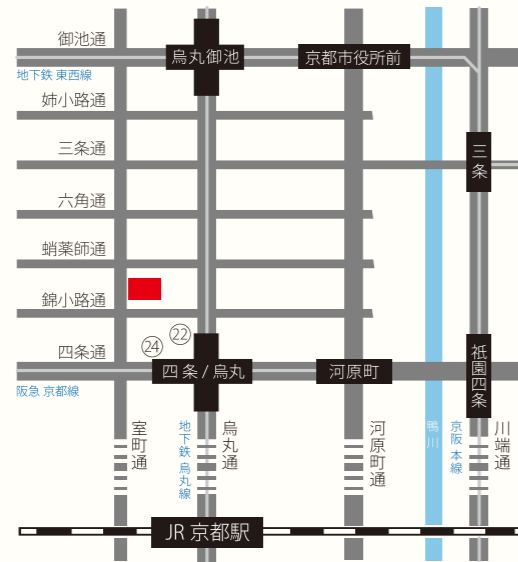




## 会場へのアクセス



## 京都芸術センター KYOTO ART CENTER

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2

TEL | 075-213-1000

FAX | 075-213-1004

E-mail | info@kac.or.jp

URL | <http://www.kac.or.jp/>

- 阪急京都線「烏丸駅」22・24番出口より徒歩5分。■ JR「京都駅」から地下鉄烏丸線に乗換え「四条駅」下車、22・24番出口より徒歩5分。
- 駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

## お問合せ

### 京都市立芸術大学 事務局連携推進課（事業推進担当）

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

TEL | 075-334-2204

FAX | 075-334-2241

大学ホームページ | <http://www.kcua.ac.jp>

公式 Facebook | <https://www.facebook.com/kcua.ac.jp>

公式 Twitter | [https://twitter.com/kyoto\\_geidai](https://twitter.com/kyoto_geidai)



### 日本伝統音楽研究センターに関する情報

日本伝統音楽研究センターホームページ | <http://w3.kcua.ac.jp/jtm>

公式 Facebook | <https://www.facebook.com/kcua.rcjtm/>

公式 Twitter | [https://twitter.com/kcua\\_rcjtm](https://twitter.com/kcua_rcjtm)

# まなぶ・かんじる・かんがえる 伝統音楽の 知に遊ぶ1日

入場無料・予約不要

初めての方も  
大歓迎!

“能”とか“狂言”  
って難しくない?

伝統音楽って何?

“琴”の演奏、  
聴いてみたい!

子供も興味を  
持つかしら?

## 2016. 3. 2 水

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターは開設15周年を迎えました。元明倫小学校校舎という学びの場でもある京都芸術センターで、多彩なゲストとともに伝統音楽の“身体”と“知”の世界にふみいれてみませんか?

第Ⅰ部 15:00 - 17:30

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター  
15周年記念シンポジウム  
伝統音楽の身体にふれる  
— 新しい知にむけて —

第Ⅱ部 18:00 - 20:30

日本伝統音楽研究センター第44回公開講座  
(平成27年度第4回)  
義太夫節 通し狂言の復曲

会場 | 京都芸術センター 講堂  
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2

主催 | 京都市立芸術大学、京都市、京都芸術センター  
後援 | 京都新聞

## 第Ⅰ部

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター15周年記念シンポジウム

伝統音楽の身体にふれる  
— 新しい知にむけて

開演 | 15:00 (14:00開場)

公演中に入退場自由  
親子参加も歓迎します

## プログラム

挨拶 | 鷺田 清一 (京都市立芸術大学学長)

## ワークショップ

古琴の思想と身体 15:15-15:35

出演 | 武内 恵美子 / 日本音楽史  
(日本伝統音楽研究センター准教授)

中国で古くから演奏されてきた古琴は、思想と深く結びつき、「琴資簡静」を基本として心構えや体の使い方を規定しました。また宇宙や自然あるいは感情を表現するために、独特な技法を用いることもあります。日本でもその豊かな文化に憧れ受け入れられてきた琴の静穏幽韻な世界観とそれを表現するための身体の関係性について紹介します。

トークショー+ワークショップ  
伝統音楽の知に遊ぶ

安田 登氏にきく 15:35-16:25

出演 | 安田 登 / 能楽師

中国の古代哲学、日本の古典文学、ロルフイング、能の身体技法などを、独自なかたちで組み合わせ、横断させつつ、身体と声を基礎とした新しい「人文」の知を創造してこられた安田氏。現在は、伝統を基盤とした新しい声のパフォーマンスに挑戦しておられます。お話とワークショップを通じて、伝統音楽の声と身体の可能性をまなびましょう。

小林 昌廣氏にきく 16:25-17:05

出演 | 小林 昌廣 / 芸術生理学

伝統音楽の伝承に欠くことができないのは「観客」。目や耳を肥やすことでえられる独特の楽しみは、身体と、さらには学術研究と、どのようにかかわってくるのでしょうか。豊かな鑑賞経験に基づいて、独自の身体論を展開してこられた小林氏に、伝統の生成について、また未来の観客のあり方について、考えを語っていただきます。

◆ 質問の時間 17:05-17:25

挨拶 | 時田 アリソン  
(日本伝統音楽研究センター所長)司会進行 | 藤田 隆則  
聞き手 | (日本伝統音楽研究センター教授)

日本の伝統音楽・伝統芸能には、どのような“知”が隠されているのでしょうか？

伝統を伝えるためには、厳しい身体の修練が大切です。そして伝統音楽の演奏は身体の動きの流れそのものです。

このシンポジウム+ワークショップでは、伝統音楽や伝統芸能の身体が「新しい楽しみを与えてくれるもの」「新しい知の領域をきりひらくもの」となり得ることを明らかにします。それをふまえて、未来の伝統音楽・伝統芸能の実践・鑑賞・研究は、どのように関係しあっていくのかを考えます。

## 出演者紹介



武内 恵美子 たけのうち・えみこ

国立音楽大学大学院、総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻修了。博士(学術)。国立音楽大学助手、秋田大学教育文化学部准教授を経て現職。音楽学(日本音楽思想史、日本音楽文化史)。江戸時代の思想と音楽について、江戸時代の上方歌舞伎の演奏者について研究している。第24回田邊尚雄賞受賞、第20回清学会奨励賞受賞。



安田 登 やすだ・のぼる

能楽師(ワキ方下掛宝生流)、公認ロルファー。1956年生まれ。鍋木孝男師(ワキ方)の謠に衝撃を受け、27歳のときに入門。さまざまな形で能のワークショップを行なうほか、学びの場である寺子屋を各地で開く。著書に『疲れない体をつくる「和」の身体作法』『能に学ぶ身体技法』『異界を旅する能』『身体感覚で「芭蕉」を読みなおす』他多数。



小林 昌廣 こばやし・まさひろ

情報科学芸術大学院大学教授。1959年東京生まれ。大阪大学大学院医学研究科博士課程単位取得。医療・哲学・芸術の3点から見た身体論を構築。専門は医療人類学、身体表現研究、表象文化論、古典芸能批評。歌舞伎は3歳の頃から見続けている。古今亭志ん朝と同じ町内会であったのが自慢。主著に『病い論の現在形』『臨床する芸術学』など多数。

(出演順)

## 第Ⅱ部

日本伝統音楽研究センター第44回公開講座(平成27年度第4回)

## 義太夫節 通し狂言の復曲

開演 | 18:00

## プログラム

座談会 18:00-18:30

出演 | 後藤 静夫 (日本伝統音楽研究センター前所長)  
竹内 有一 (日本伝統音楽研究センター准教授)  
神津 武男 (早稲田大学演劇博物館招聘研究員)

司会 | 山田 智恵子 (日本伝統音楽研究センター教授)

試演会 18:45-20:00 (予定)

『ひらかな盛衰記』序切  
「栗津合戦段」復曲初演出演 | 浄瑠璃 / 豊竹 呂勢大夫  
三味線 / 鶴澤 藤蔵

アフタートーク 20:05-20:30 (予定)

出演 | 豊竹 呂勢大夫  
鶴澤 藤蔵  
聞き手 | 神津 武男  
山田 智恵子

## 科学研究費成果報告試演会

この公開講座は、科学研究費助成事業(基盤研究(B))課題番号24320042、研究代表者山田智恵子)の成果報告試演会です。

人形浄瑠璃文楽は、江戸時代以来大正末期まで、物語の発端から上演する「通し狂言」が基本的上演様式でした。しかし、昭和初期以降、見取り方式に切り替えられ、それにより、人から人への伝承を失った曲が多くあります。

今回は、復元するための資料を研究者が整備して、曲の選定や復元の方法等を実演者と共同して進める試みとして、文楽の豊竹呂勢大夫師・鶴澤藤蔵師にご協力いただき、『ひらかな盛衰記』序切「栗津合戦の段」の復曲初演を行います。

## 出演者紹介



豊竹 呂勢大夫 とよたけ・ろせたゆう

文楽技芸員。1979年四代鶴澤重造に師事、五代竹本南部大夫に入門、竹本南寿大夫と名のる。1984年国立文楽劇場で初舞台、1985年五代豊竹呂大夫の門下となる。1988年豊竹呂勢大夫と改名。2000年八代豊竹嶋大夫の門下となる。平成12年2月咲くやこの花賞(演劇舞踏)他、受賞多数。



鶴澤 藤蔵 つるさわ・とうぞう

文楽技芸員。1976年十代竹澤弥七に入門、研究生となり、祖父、鶴澤藤蔵の前名鶴澤清二郎を名のる。1978年鶴澤清治門下となる。1983年朝日座で初舞台。2011年大阪・国立文楽劇場において二代鶴澤藤蔵を襲名。平成24年6月平成23年度(第68回)日本芸術院賞他、受賞多数。

五感で感じる

和の文化事業とは

京都市では、国内の貴重な伝統芸能・文化を発信し、将来に継承するための拠点施設となる「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」の実現を目指し、センター機能として想定する事業を、「五感で感じる和の文化事業」として先行的に試行しており、市民の皆さんに京都の伝統的な文化芸術に身近に触れていただく機会を提供しています。

※ 各プログラムの設定時間は、当日の進行状況により変動することがありますので予めご了承ください。